



令和5年度



ひと ひと

あさか女と男セミナー報告書

主催:朝霞市 企画・運営:あさか女と男セミナー企画・運営協力員

はじめに

本市では、「男女の輪が素敵な朝霞をつくる～男女平等社会をめざして～」を合言葉とし、男女平等に係る活動を支援する総合的な拠点施設である、それいゆぱらざ(朝霞市女性センター)を中心に、さまざまな施策を進めています。

「あさか女と男セミナー」は、男女平等に関する情報を提供するとともに、その学びを通じて、参加者一人ひとりの男女平等意識を高め、性別にかかわらず、その持てる力を発揮し、社会や地域で活躍できる人材育成を目的に、公募による「あさか女と男セミナー企画・運営協力員」と協働して毎年度開催しています。

今年度のテーマ『誰もが主役の社会に！』は、「セミナーをきっかけに男女平等がさらに推進され、これからの社会が「誰か」ではなく「誰もが」主役になれるように」というメッセージを込め、セミナー企画・運営協力員会議で決定しました。

また、今年度は、第1部・第2部は対面式講座。第3部をオンデマンド動画配信(市公式YouTubeによる申込者限定公開)として、全3部の講座を実施いたしました。

感染症対策もあり、自宅に居ながら安心して受講できる環境も確保しつつ、動画を視聴できる環境がない方も気軽にご参加いただけるような学びの場を提供したい、という思いで取り組みました。

魅力的な講師陣の皆さまにご講義いただき、受講者が、自分自身への気づきや他者を理解するためのヒントを得られるような講座となったのではないかと思います。

この報告書が、より多くの市民の方々の目に留まり、誰もが性別に関わらず活躍できる男女平等社会の実現に向け、より一層理解を深めていただく一助となれば幸いです。

令和6年3月

それいゆぱらざ(朝霞市女性センター)

あさか女と男セミナー企画・運営協力員

— 目 次 —

第1部 シェアするハウスワークでありがとう	1
-----------------------------	---

講師／中央大学名誉教授 朝霞市男女平等苦情処理委員

ひろおか もりほ
広岡 守穂 氏

第2部 女性の元気が社会を変える	3
------------------------	---

講師／埼玉大学ダイバーシティ推進センター准教授

おかむら りえ
岡村 利恵 氏

第3部 これだけは伝えたい！今からできる大切なこと	5
---------------------------------	---

講師／大手前大学国際看護学部学部長 LGBT 法連合会代表理事

ふじい
藤井 ひろみ 氏

受講者アンケート集計	7
------------------	---

ちらし	11
-----------	----

あさか <small>ひと</small> 女と <small>ひと</small> 男セミナー企画・運営協力員の感想	13
---	----

ひと ひと

*この報告書は、「あさか女と男セミナー企画・運営協力員」と協働で作成しています。

協力員レポート

第1部「シェアするハウスワークでありがとう」

講師：中央大学名誉教授

ひろおか もりほ
広岡 守穂 さん

プロフィール

現代日本の社会現象に幅広く関心を持ち、男女共同参画、NPO、子育てなど様々な分野で活躍している。1990年ベストメン賞受賞。これまで佐賀県立女性センター・アバンセ館長、内閣府男女共同参画審議会苦情処理・監視専門調査会委員など歴任。中央大学名誉教授。現在、朝霞市男女平等苦情処理委員でもある。

○講座企画への思い

幼少期からの教育は重要であり、その時の監護者の振る舞いや教育が、後の生活に大きな影響を及ぼします。男女共同参画など、小さな者が居る段階からの啓発が重要であり、その年代層に関わる者にも受講してほしいと思い、皆が考えるきっかけとして、誰もが意識を高められるような講座を実施したいと考えました。

○内容

- ・学生時代のエピソード
- ・海外生活時のエピソード
- ・結婚後の夫婦生活のエピソード
- ・まとめ

○感想

家族生活のベテランである講師が、具体的に伴侶との出会い、結婚、子育ての体験を経て現在に至る過程を、限られた時間では足りないくらいたくさん語って下さいました。その行程は決して一直線ではなく、試行錯誤の繰り返し、成功もあれば失敗も数えきれないくらいあった末での今ですが、これからの行き先をはっきりと見据えておられるわけでもありません。人生には正解などないし、あったにせよ、一つだけではないですから、講師の先生はこうしたら夫婦関係はうまくいくとか教条的な安直レクチャーはされませんでした。それでも、冒険を恐れなかった生き方は、聞く側に説得力がありました。

中学の同級生と21歳で学生結婚されたときには、パートナーは石川県で通われていた大学を辞めましたが、今なら他にやり方があったかもしれません。ですが、後にパートナーが地方政治で活躍されることになったのも、絶対にチャレンジ精神を失わなかったことと、常に現状よりいい位置と一緒に移動するためにはどうしたらいいのか、考えることを止められなかったからだと思います。私の理解では、そのための必要不可欠条件は家族間のコミュニケーションでしょう。男性の家事、育児参画そのものも大切ですが、その根底には屋根の下に物理的な壁はあっても、精神的な壁を決して築かないことです。

《受講者の声》

・非常に興味深く、おもしろいお話をありがとうございました。夫婦間での馴れ初めや、人生についてのお話は、なかなか聞けないものなのでとても参考になりました。

・夫婦の在り方。育児分担しない夫は尊敬されなくなる時代ですが、昭和生まれは、家事はしないのが美德と育てられるとか、台所に入ると母が怒るとかありました。育児は夫婦だけの問題でないと、義父母にも教育してほしいです。今は数十年前と、だいぶ育児分担の考え方が変わって、男女関係ない時代に進んでよかったと思っています。

・なるほどなあと思うことが多かった講演会でした。結婚しても相手への尊敬は忘れないようにします。

・相手の生き方を守りたいという気持ち。忘れたくないなと思いました。平日の昼は、参加できない人も多いのかなと思いました。

・先生の体験を交えたお話で、女性も自分の自立を考えていかなければならないという言葉にハッとさせられました。自分の人生を大切にしたいと思います。

《講義の様子》



協力員レポート

第2部「女性の元気が社会を変える」

講師:埼玉大学ダイバーシティ推進センター准教授

おかむら りえ
岡村 利恵 さん

プロフィール

お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所特任講師を経て、2023年より埼玉大学ダイバーシティ推進センター准教授となる。研究テーマは女性のリーダーシップや育児・介護などのケア役割。大学でのリーダーシップ教育にも取り組む。博士(社会科学)。専門社会調査士。

○講座企画への思い

働く女性・女性の社会進出について講演を行い、様々な体験談などを聞くことで、これから社会に出ようとしている女性の後押しとなるよう啓発を行っていく必要があると考えました。また、男性も女性の社会進出について理解を深めることで、今も残る男性中心の考え方が変化していくことが期待されます。そのような変化や、女性の社会進出のきっかけとなる講座を実施したいと考えました。

○内容

- ・リーダーシップについて
- ・日本や諸外国の女性管理職の状況
- ・リーダーシップ教育について
- ・まとめ

○感想

女性の社会進出やリーダーシップの学びが始まって、まだ10年もたっていないことに少し驚きを感じましたが、確かにこれといった理解をしていなかったことに気づきました。母親が管理職に就いていたので、漠然と自分にもそういう道があるくらいに思っていたのですが、いざ結婚や出産となると、パートナーとの意識の違いで仕事を続けることは難しいのが現実でした。

男性は、昇進するのが当たり前でも、女性は働く前段階から、管理職に就く意識がないというデータがありました。近年日本女性の就業率が世界水準となっても、出産や子育ての負担が大きすぎて、管理職まで考えられないのは納得できます。今、日本の女子大学で、女性の社会進出やリーダーシップの学びに力を入れているということを知り、今後に期待しています。世界的に遅れをとっている日本の女性の社会進出には、女性自身の学びと世の中の理解や助けが必要なのだと思います。地域や行政の手も借りながら、女性も男性も等しく働ける環境が当たり前になってほしいと思いました。

《受講者の声》

- ・すごくわかりやすく、研究の状態紹介と現実分析がうまくミックスされていた。
- ・世代的に、女性は結婚したら仕事を辞めるという時代でした。実際、自分の働いていた会社もそうでした。時代が変化し、社会が多様化する中で、今回のセミナーは今後いろいろなことを考えるきっかけになりました。とてもレベルの高いセミナーでした。
- ・とてもわかりやすく、勉強になりました。少しずつ、男性中心の社会から女性のことも考えた社会になることを望みます。
- ・女性が活躍する社会に必要なヒントをご教授いただけました。ありがとうございます。
- ・社会の女性への考えと、女性が考えていること、それぞれオープンにしていけないと、誤解や考えの相違があるのかなと思いました。
- ・とてもテンポのよい講演でした。もっともっと詳しく聞きたい内容です。
- ・女性が社会で活躍する時代が、早く来るといいなと思いました。自己肯定感の低さにたどり着くと思わなかったのが驚きましたが、とても大切なことだと思いました。
- ・日本のジェンダーギャップ指数を下げている、管理職になる女性の少なさの原因の1つは、家事育児への男性の参画がまだ足りていないからだと思います。教育から、家事育児をするのは男女とも当たり前のことと教えるのも、とても大切だと思います。

《講義の様子》



協力員レポート

第3部「これだけは伝えたい！今からできる大切なこと」

講師：LGBT 法連合会代表理事、大手前大学国際看護学部学部長

藤井 ひろみ さん

プロフィール

専門は看護学、助産学、女性学、クィアスタディーズ。看護学博士。神戸市看護大学大学院准教授、慶應義塾大学看護医療学部教授を経て、現在は大手前大学国際看護学部学部長を務めている。LGBT 法連合会代表理事。団体：ダイバーシティ町家管理人。

○講座企画への思い

令和5年6月、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律が公布されました。また、市ではパートナーシップ・ファミリーシップ制度を開始しました。今後、性の多様性への関心はさらに高くなっていきます。同時に、性の多様性に係る正しい知識の啓発も行っていく必要があります。そのような中で、みんなが正しい知識を得て理解を深め、誰もが自分らしく活躍できる社会について考えられる講座を実施したいと考えました。

○内容

- ・多様な性に関する基礎知識
- ・パートナーシップ・ファミリーシップ制度について
- ・性の多様性に関する法や現状等
- ・まとめ

○感想

この動画を見て、実際今からできる事が何であるのかを考えました。

それは人権「すべての人にある権利」について、ごく当たり前のことを当たり前に発言し、行動していくことだという事を改めて感じました。

この動画の内容を全て理解し把握しなくてもできる事だと思います。

社会を見てみると性別に関係なく、生きていくために必要な権利があります。これは当然のことなのですが、実際それを意識し認識している社会とは言えません。

性の問題はとてもプライベートなことであるため慎重に扱う必要があります。

しかし、シスジェンダー、ヘテロセクシャルの場合、カミングアウトを行う事やアウンティング等、扱いに対し特に気にしなくても生活を送り生きていくことができます。本来どんな性別でもこのような状況でいられることが社会のあるべき姿ではないのでしょうか。（次ページへ続く）

社会の中で意識、認識を広め深めていくには法的な整備は、とても重要な位置づけとなります。しかし中々整備は進まず、まだまだやらなければいけないことが多くあり、非常に遅れているのが現実です。

動画の最後にありましたように「法律を作る、条例を作る、のは政治家の仕事」です。

しかし「社会の中に居る私達市民一人一人が発言し行動することで社会が変わり法律を変える力になる」のです。「LGBTQ+」だけでなく「女性」を含めた性的、社会的マイノリティが「すべての人にある権利」を受けられる社会にしていくために「今からできる大切なこと」を少しずつでも行っていくことの大切さと必要性を感じ考えることができました。

《受講者の声》

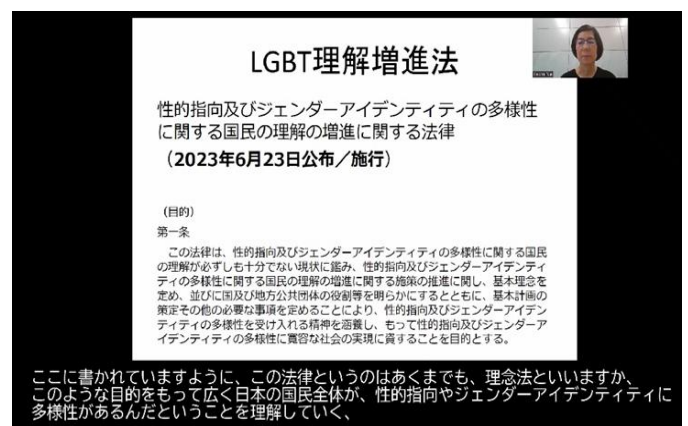
- ・生きづらさを抱えている当事者への理解は、個人の認識が大切であり、その声を上げていくことが社会全体への理解につながると感じました。字幕があってよかったです。
- ・SOGI は初耳で、この講習で全体の理解も容易になった。
- ・SOGI の説明に、いろいろなカップルの在り方もあるのだなと思いました。講師の方の表現が適切で、すてきでした。
- ・第3部を受講いたしました。SOGI を理解しやすく説明されていたので、よくわかりました。

《講義の様子》



ジェンダー&ダイバーシティ講座
令和5年度あさか女と男セミナー
誰もが主役の社会に！
第3部
「これだけは伝えたい！今からできる大切なこと」
○講師：LGBT 法連合会代表理事、大手前大学国際看護学部学部長
藤井 ひろみ 氏
○内容：LGBTQ や性の多様性って何？LGBT 法連合会代表理事で助産師でもある講師が、ご自身の経験談等を通じ、身近な多様な性について語ります。もしカミングアウトされたらどうしたらいい？など、幅広い内容でお話いただき、正しい知識を得て、理解を深めましょう。

主催：朝霞市 企画・運営：あさか女と男セミナー企画・運営協力員



LGBT理解増進法
性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律
(2023年6月23日公布/施行)
(目的)
第一条
この法律は、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解が必ずしも十分でない現状に鑑み、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する施策の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の役割等を明らかにするとともに、基本計画の策定その他の必要な事項を定めることにより、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性を受け入れる精神を涵養し、もって性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に寛容な社会の実現に資することを目的とする。
ここに書かれていますように、この法律というのはあくまでも、理念法といいますが、このような目的をもって広く日本の国民全体が、性的指向やジェンダーアイデンティティに多様性があるんだということを理解していく、

令和5年度あさか女と男セミナー

ジェンダー&ダイバーシティ講座
誰もが主役の社会に！

参加者アンケート集計結果 回答件数:35名

問1. あなたの性別・年代を教えてください。※記載は任意です。

性別	女性	20名	男性	5名	その他	0名	※未記入10名
----	----	-----	----	----	-----	----	---------

20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
6名	4名	2名	13名	9名	1名

問2. 今回のセミナーはどちらで知りましたか？(複数回答可)

	広報	ホームページ	市公式X	Facebook	市公式LINE	チラシ・ポスター	紹介	その他
第1部	6名	1名	0名	0名	0名	1名	4名	7名
第2部	6名	0名	0名	0名	0名	3名	4名	1名
第3部	2名	0名	0名	0名	1名	0名	1名	1名

問3. 今回のセミナーの参加理由は？(複数回答可)

- ①テーマ・内容に興味があったから
- ②講師の話を聞いたかったから
- ③以前にも参加したことがあったから
- ④知り合いなどに誘われたから
- ⑤会場がよかったから
- ⑥その他

	①	②	③	④	⑤	⑥
1部	13名	6名	0名	3名	0名	1名
2部	11名	4名	0名	2名	0名	0名
3部	5名	1名	3名	0名	0名	0名

問4. セミナーの内容などについて、近いものを選んでください。

満足度

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
1部	5名	7名	5名	0名	0名
2部	9名	0名	0名	0名	0名
3部	4名	1名	0名	0名	0名

わかりやすさ

	わかりやすかった	ややわかりやすかった	ふつう	ややわかりづらかった	わかりづらかった
1部	7名	6名	4名	0名	0名
2部	6名	4名	0名	1名	0名
3部	5名	0名	0名	0名	0名

セミナー時間

	ちょうど良い	良い	ふつう	短い
1部	5名	6名	6名	0名
2部	3名	6名	1名	0名
3部	5名	0名	0名	0名

問5. 今後のセミナーで取り上げて欲しい内容、テーマ等は何ですか？(複数回答可)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| ①男女共同参画(全般) | ②SDGs(目標5:ジェンダー平等の実現) |
| ③女性の就業支援 | ④男性の家事・育児・介護への参画 |
| ⑤LGBTQなどの性の多様性 | ⑥デートDV |
| ⑦男女共同参画の視点から考える防災 | ⑧ワーク・ライフ・バランス |
| ⑨女性の政治参画 | ⑩パートナーとのコミュニケーションのコツ |
| ⑪DV(配偶者等からの暴力) | ⑫性暴力・性犯罪 |
| ⑬ハラスメント | ⑭その他 |

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
7名	10名	4名	15名	10名	3名	7名
⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
12名	2名	12名	1名	0名	4名	1名

問6. セミナーの受講方法について、一番参加しやすいと感じるものは何ですか？

- | | |
|---------|---------------------|
| ①会場での受講 | ②オンライン(YouTube動画配信) |
| ③その他 | |

①	②	③
17名	18名	1名

※①と②の複数回答者1名含む

問7. セミナーに対するご意見・ご感想をお書きください。(自由記入)

・貴重なお話をありがとうございました。

・ためになる話を聞くことができました。今後の生活に生かせると思います。

・興味深いお話をいろいろと聞かせていただきました。実生活の中で、共感できるお話もありましたが、言葉が少し難しい所もありました。意識を向けて、関心をもっていきたいと思います。

・常識というものは、時代によって変わっていくので、柔軟な考え方が大事なのだと思いました

・今回は久しぶりの対面と、コロナ禍ですっかり定着した配信の組み合わせでしたね。それぞれの良さがあるので、是非これからも両方を選択できるとありがたいです。特に配信は、必要な箇所をじっくり繰り返し見ることでもでき、時間・場所を選ばず拝見できるので助かります。できれば、配信時間をもっと長く設定してほしいです。



令和5年度あさか女と男セミナー



誰もが主役の社会に！

男女平等に関する情報を提供するとともに、その学びを通じて一人ひとりの男女平等意識を高め、性別にかかわらず、その持てる力を発揮し、社会や地域で活躍できる人材育成を目的に、セミナーを開催します。

開催方法



第1部(対面式) 令和6年1月19日(金) 14時~16時
(会場:中央公民館・コミュニティセンター ホール)
第2部(対面式) 令和6年1月20日(土) 14時~16時
(会場:中央公民館・コミュニティセンター 展示ギャラリー)
※第1部・第2部は保育あり
第3部 市公式 YouTube による限定公開(配信)
(配信期間:令和6年1月9日(火)~1月31日(水))



講座内容

第1部(対面式講座)「シェアするハウスワークでありがとう」 講師:広岡 守穂(ひろおか もりほ)氏
○内容:男性の家事・育児参画の重要性について、講師の体験談等を交えてお話しします。また、子育てや教育の面からも男性が参画することの重要性に触れ、幼少期の子を抱える男性の家事・育児への参画意欲を高めます。

第2部(対面式講座)「女性の元気が社会を変える」 講師:岡村 利恵(おかむら りえ)氏
○内容:社会学の研究者としての知見や子どもを持つ大学教員としての経験をもとに、これから社会で活躍の幅を広げようとする女性の後押しをします。男性中心的社会のあり方についても考えます。

第3部(配信)「これだけは伝えたい!今からできる大切なこと」 講師:藤井 ひろみ(ふじい ひろみ)氏
○内容:LGBTQ や性の多様性って何?LGBT 法連合会代表理事で助産師でもある講師が、ご自身の経験談等を通じ、身近な多様な性について語ります。もしカミングアウトされたらどうしたらいい?など、幅広い内容でお話いただき、正しい知識を得て、理解を深めましょう。

参加方法

ご参加にはお申込が必要です。裏面に記載してある「申込~講座までの流れ」をご確認のうえ、お申込ください。※対面式講座は申込先着40名となります。

申込期間

令和5年12月5日(火)~令和5年12月20日(水)

お問い合わせ:朝霞市女性センターそれいゆぷらざ ※火曜日~日曜日 9時~17時
TEL:048-463-2697 E-mail:soreiyu@city.asaka.lg.jp

主催:朝霞市 企画・運営:あさか女と男セミナー企画・運営協力員



講師プロフィール

第1部講師 ひろおか もりほ 広岡 守穂 氏



現代日本の社会現象に幅広く関心を持ち、男女共同参画、NPO、子育てなど様々な分野で活躍している。1990年ベストメン賞受賞。これまで佐賀県立女性センター・アバンセ館長、内閣府男女共同参画審議会苦情処理・監視専門調査会委員など歴任。中央大学名誉教授。現在、朝霞市男女平等苦情処理委員でもある。

第2部講師 おかむら りえ 岡村 利恵 氏



お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所特任講師を経て、2023年より埼玉大学ダイバーシティ推進センター准教授となる。研究テーマは女性のリーダーシップや育児・介護などのケア役割。大学でのリーダーシップ教育にも取り組む。博士(社会科学)。専門社会調査士。

第3部講師 ふじい ひろみ 藤井 ひろみ 氏



専門は看護学、助産学、女性学、クィアスタディーズ。看護学博士。神戸市看護大学大学院准教授、慶應義塾大学看護医療学部教授を経て、現在は大手前大学国際看護学部学部長を務めている。LGBT 法連合会代表理事。団体：ダイバーシティ町家管理人。

申込～講座までの流れ

市ホームページの申込フォームに必要事項を記入し、送信します。
こちらの2次元コードからもアクセス可能です。
電話及び窓口でのお申込も可能です。



注意事項

- ※第3部のお申込の際、メールアドレスが必要となります。
- ※対面式講座につきましては、申込先着40名が定員となります。
- ※動画視聴には、YouTube動画を視聴できる機器が必要となります。
- ※通信にかかる費用は受講者の負担となります。
- ※URLの転送・転載、動画の録音や第三者への共有等は固く禁止いたします。
- ※会場での保育を希望する場合は、申込の際にお申出ください。保育保険料として、お子様1人につき500円がかかります。保育は1歳以上が対象となります。(上限5人)

ひと ひと あさか女と男セミナー企画・運営協力員感想

正直、参加する前に抱いた期待、イメージとは異なるものでした。女性や LGBT といった、性的・社会的マイノリティ側の意見等を期待していたのですが、マジョリティである男性側の意見が多いように感じました。参加者や管理職の男女比率などからも、男性主体の社会の根深さを改めて実感しました。だからこそ、このセミナーの役割は大きく、今後の在り方を改めて考えていく必要があるのではないのでしょうか。ただ私にとって、考え方、生き方の参考になることも多く、参加できたことに感謝いたします。

協力員 N.K

講師の人選の段階から、ミーティングでさまざまなアイデアが飛び交って、多くのことが学べました。協力員になる前は、女性問題を考えてみることはあっても、能動的に自分が社会的な貢献をするというような見地からではありませんでした。こうした機会を得ますと、それまでに抱いていた大まかな考えが精緻化される一方、あまり強くは意識していなかった側面にも思考が及び、自己啓発にもつながりました。

協力員 N.S

ふだん、仕事や母親という目線で物事を考えがちでしたが、協力員の会議を通していろいろな立場の考え方に触れることができました。たくさんの方に、このセミナーに参加していただくにはどうしたらいいのか、興味をもっていただけるか。そんな初歩的なところからスタートし、「女と男セミナー」の理解が深まり、今後の働き方や生き方のヒントになりました。すばらしい講師の方々にご登壇いただけたことに感謝しています。

協力員 K.S

あさか女と男セミナーの打ち合わせ会議に参加させていただき、テーマと講師の先生を決めるには事務局の方も大変だったと思います。時代に即したテーマを選び、前回と変えなければならぬからです。でも同じ協力員の中には、経験豊かな人もいたので、自分としては心強いと思いました。私は、体調不良によりセミナー当日に参加できなかったのが、残念でしたが、また機会があれば、参加したいと思います。

協力員 M.T

令和 5 年度

あさか女と男^{ひと}セミナー^{ひと}報告書

発行年月 令和 6 年 3 月

発 行 朝霞市

編 集  朝霞市女性センター
それいゆ^{ひと}ぷら^{ひと}ざ

あさか女と男^{ひと}セミナー^{ひと}企画・運営協力員

〒351-0016 埼玉県朝霞市青葉台1丁目7番1号

電 話 048-463-2697

F A X 048-463-0524

E-mail soreiyu@city.asaka.lg.jp